

昔の町村界を再現する方法

国勢調査の地図データを使って

空間情報科学分野 5年 上江洲 朝彦

昔の町村界を再現する方法としては、いくつかのアプローチが考えられます。

例): 当時の地図をデジタル化して行う方法

でも、これは当時の地図の測地系や座標系が現在と異なっているため、正確性を書くという点がデメリットとなります。また、データ入力など作業に膨大な時間が必要となります。

そこで GIS を使い、現在の町村界へ昔の町村界のデータを (事典・郷土資料などを 使って) 反映させることで、町村界の再現を試みました。

- <今回使用したデータ> A 2000 年国勢調査町丁字別地図境界データ
 B 明治 - 平成期町丁字界変遷データ

<作業>

データ A とデータ B を組み合わせます。そしてできたのがデータ A+B(次項)です。

データ A : 2000 年国勢調査町丁字別地図境界データ

	G	H	I	J	AE	AF	AG	AH
1	KEN_NAME	SITYO_NAME	DUMMY1	GST_NAME	MOL1	SEQ_NO2	KSUM	CSUM
2	徳島県			徳島市	瀬戸町大島田	1	1	1
3	徳島県			徳島市	瀬戸町室	2	1	1
4	徳島県			徳島市	瀬戸町中島田	3	1	1
5	徳島県			徳島市	徳島町土佐沼浦	4	25	13
6	徳島県			徳島市	瀬戸町北沼	5	14	6
7	徳島県			徳島市	瀬戸町権佐	6	1	1
8	徳島県			徳島市	瀬戸町室浦	7	20	9
9	徳島県			徳島市	徳島町土佐沼浦	8	25	13
10	徳島県			徳島市	瀬戸町小島田	9	1	1
11	徳島県			徳島市	北瀬町栗田	10	6	3
12	徳島県			徳島市	北瀬町大浦	11	2	1
13	徳島県			徳島市	北瀬町沼毛谷	12	1	1
14	徳島県			徳島市	北瀬町鳥ヶ丸	13	1	1
15	徳島県			徳島市	瀬戸町北沼	14	14	6

データ B 明治 - 平成期町丁字界変遷データ

1	CITY	KU/SUN	DHO	SON	CHOOCHO	1999年	1990年	1991年	1992年
2	徳島市				一善町1丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
3	徳島市				北島町1丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
4	徳島市				北島町2丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
5	徳島市				徳町1丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
6	徳島市				徳町2丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
7	徳島市				徳町3丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
8	徳島市				新町1丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
9	徳島市				新町2丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
10	徳島市				新町3丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
11	徳島市				新町4丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
12	徳島市				徳島町西1丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
13	徳島市				徳島町西2丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
14	徳島市				徳島町東1丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市
15	徳島市				徳島町東2丁目	徳島市	徳島市	徳島市	徳島市

データ A+B：1891年のデータを追加した2000年国勢調査町丁字別地図境界データ
 (1891年の村名には「旧村コード」を設定して付与してある)

	KEN_NAME	CITY_NAME	CSS_NAME	MOJI	1891年の村名	旧村code
1	徳島県	鳴門市		鳴門市大島田	鳴戸村	34202002
2	徳島県	鳴門市		鳴門市室	鳴戸村	34202002
3	徳島県	鳴門市		鳴門市中島田	鳴戸村	34202002
4	徳島県	鳴門市		鳴門市土佐白道	鳴戸村	34202007
5	徳島県	鳴門市		鳴門市北白	鳴戸村	34202002
6	徳島県	鳴門市		鳴門市徳住	鳴戸村	34202002
7	徳島県	鳴門市		鳴門市室	鳴戸村	34202002
8	徳島県	鳴門市		鳴門市土佐白道	鳴戸村	34202007
9	徳島県	鳴門市		鳴門市小島田	鳴戸村	34202002
10	徳島県	鳴門市		北灘町栗田	北灘村	34202006
11	徳島県	鳴門市		北灘町大津	北灘村	34202006
12	徳島県	鳴門市		北灘町宮毛台	北灘村	34202006
13	徳島県	鳴門市		北灘町島ヶ丸	北灘村	34202006
14	徳島県	鳴門市		鳴門市北白	鳴戸村	34202002
15	徳島県	鳴門市				

次にこのデータを dbf 方式で保存して、**データ A**と「テーブル結合」させて地図化します。



図1 1891年の徳島県の市町村界



図2 2000年の徳島県の市町村界

以上が、「再現する方法」のプロセスです。

この方法を用いると、デジタル化の作業を経ずに旧町村界の再現が可能です。

しかし、町村界の基準となっているデータは、あくまでデータ作成時の町丁目界を基準としています。(例えば、近年の国勢調査が行われた年。) そのため、この作業で作られる地図は、完全に当時の町村界を再現しているというわけではありません。ただこの作業を通してマクロスケールでの町村界を把握する点では優れています。ミクロスケールで対象を捉える場合には、古い地形図や郷土資料を用いたり、フィールドワークを通して使って補足する必要があると思われます。